

科目名称：	デザイン・ビジネス演習Ⅱ	
担当者名：	大谷 友理, 橋本 謙次郎, 横山 真紀, 村井 雅美	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	8
授業の目的・テーマ		
公開オーディション制を導入することにより、実社会に目を開かせ、自らの将来を意識させる。制作に対する真剣な心構えを養うとともに互いに学び合う場とし、主体的で個性ある学生の育成と研究心を養う。審査員である外部の専門家以外にも、学内の学生・教職員は、自由に公開オーディションに立ち合うことができ、責任と緊張感を持つことでプレゼンテーション能力を高める。		
授業の達成目標・到達目標		
社会の課題に対応出来る表現能力を身につけ、Illustrator、Photoshop、After Effectsなどを自在に且つスピーディに操作できるようになる。公開オーディションや産学官連携によるデザイン提案など実践的な課題に取り組み、その中で自分の得意分野を見つけ出し、どのような強みを持って社会と関わっていくかを模索する。		

美術学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP (2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP (3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
美術DP (1)					0
美術DP (2)					0
美術DP (3)			100		100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》大谷 友理：デザイナー、アートディレクター、イラストレーター、パフォーマー	《経験年数 1》20年以上
	《内容 2》橋本 謙次郎：デザイナー、アートディレクター	《経験年数 2》20年以上
	《内容 3》横山 真紀：デザイナー、アートディレクター	《経験年数 3》20年以上
	《内容 4》村井 雅美：映像クリエイター	《経験年数 4》20年以上
備考		

到達目標ルーブリック	とても良い(S)	良い(A)	普通(B)	要努力(C)
視覚表現力	表現したいことが適切に反映されており、人に何らかの感動を与える質の高いビジュアルである。	表現したいことが適切に反映されており、質の高いビジュアルである。	表現したいことが部分的に反映されており、ある程度整ったビジュアルだが改善点もある。	表現したいことが反映されておらず、未完成なビジュアルである。
探求心	テーマに対して深く探求し、あらゆる方法で取材を行って見聞を広めている。	テーマに沿って取材を行っている。	テーマに沿って部分的に取材を行っているが十分ではない。	テーマに沿って取材できていない。
アイデア	着眼点が良く、新規性があり、創意工夫できている。	着眼点が良く、創意工夫できている。	ある程度創意工夫できているがものたりない。	ありきたりで創意工夫できていない。
独自性	個性を磨き上げ、何物にも替えられないユニークな表現ができている。	個性を認識し、魅力的に表現できている。	個性を認識し、ある程度表現できているがものたりない。	個性を発揮できていない。
プレゼンテーション	参加者に目を配り、自信を持って解りやすく且つ人を惹きつける発表ができる。	参加者に目を配り、自信を持って解りやすく発表ができる。	伝えたいことはある程度分かるが改善点もある。	何を伝えたいか分からない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第 1 週	第1回公開オーディションに向けての研究制作1、デザインフィロソフィ1（グループワーク）	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 2 週	第1回公開オーディションに向けての研究制作2、デザインフィロソフィ2	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 3 週	第1回公開オーディションに向けての研究制作3、プレゼンテーション（電子黒板の使用）及びディスカッション	プレゼンシートや画像データなど必要な資料の作成、発表準備を行っておく。	300分
第 4 週	第2回公開オーディションに向けての研究制作1、デザインフィロソフィ3	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 5 週	第2回公開オーディションに向けての研究制作2、デザインフィロソフィ4	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 6 週	第2回公開オーディションに向けての研究制作3、デザインフィロソフィ5	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 7 週	第2回公開オーディションに向けての研究制作4、プレゼンテーション（電子黒板の使用）及びディスカッション	プレゼンシートや画像データなど必要な資料の作成、発表準備を行っておく。	300分
第 8 週	第3回公開オーディションに向けての研究制作1、デザインフィロソフィ6	プレゼンシートや画像データなど必要な資料の作成、発表準備を行っておく。	300分
第 9 週	第3回公開オーディションに向けての研究制作2、外部機関と連携した課題解決型学習1	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 1 0 週	第3回公開オーディションに向けての研究制作3、外部機関と連携した課題解決型学習2、プレゼンテーション（電子黒板の使用）及びディスカッション	プレゼンシートや画像データなど必要な資料の作成、発表準備を行っておく。	300分
第 1 1 週	第3回公開オーディションに向けての研究制作4、プレゼンテーション（電子黒板の使用）及びディスカッション	プレゼンシートや画像データなど必要な資料の作成、発表準備を行っておく。	300分
第 1 2 週	第4回公開オーディションに向けての研究制作1、デザインフィロソフィ7	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 1 3 週	第4回公開オーディションに向けての研究制作2、デザインフィロソフィ8	課題に対する取材・アイデア出し・制作・試作・改善（PDCA）を行っておく。	300分
第 1 4 週	第4回公開オーディションに向けての研究制作3、デザインフィロソフィ9、プレゼンテーション（電子黒板の使用）及びディスカッション	プレゼンシートや画像データなど必要な資料の作成、発表準備を行っておく。	300分
第 1 5 週	第4回公開オーディションに向けての研究制作4、プレゼンテーション（電子黒板の使用）及びディスカッション	プレゼンシートや画像データなど必要な資料の作成、発表準備を行っておく。	300分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と準備学習を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては課題にかかわらず社会の取り組みに関心を持ち、新しいアイデアやデザインへの糧となる経験を積極的に行ってもらうことになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 ルーブリックによる課題の評価100%

課題に対してのフィードバック
前期 4 回開催される公開オーディションや各課題ごとのプレゼンテーションにて口頭でアドバイスをを行い、後日各審査員のコメントシートの配布や面談でフィードバックする。また教員だけでなく学生目線での意見もgoogleフォームで集約し各自にフィードバックする。

教科書・参考書
プリント配布及び授業時に各教員から紹介